



表 154 戦災者収容状況

	第一次収容		第二次収容		第三次収容	
	収容箇所	当初収容員	収容箇所	当初収容員	収容箇所	当初収容員
第一次収容	錦市立工業校	2,500	錦西校	2,500	錦西校	368
	立岡工業校	7,750	深井高女校	5,000	西野寺	34
	金立高女校	8,000	官立高女校	9,300	市榎林寺	70
	官立高女校	8,000	湊三立高女校	6,900	熊少松	33
	湊触松綾校	8,000	三府立高女校	991	市榎林寺	184
	錦石各寺校	1,880	府立高女校	3,000	松園園	10
	錦石各寺校	808	府立高女校	6,300	錦三	11
	錦石各寺校	891	府立高女校	65	計	2,329
	錦石各寺校	600	府立高女校	1,192	西別	
	計			70,677	計	300
第二次収容	錦西別	18	錦西別	350	西別	
	英湊安三	800	市榎林寺	170	計	300
第三次収容	西別	105	英南	168		
	計	8	安三	8		

寝具・その他の必要品の輸送に専念するとともに、救済事業に出動する義勇隊員その他の関係者の輸送に全力をつくした。戦災者の収容 第一次救済事業として、まず戦災者を収容することが緊急を要したので、表一器のようにそれぞれ残存国民学校その他に収容し、食事等を給与したが、縁故疎開を勧奨し一七日をもって第一次収容を打ち切り、残存者を第二次収容者として取扱ひ、全然寄るべのない母子二六世帯を母子寮に収容した。

即日事業に着手した。また運営・補助機関としては、堺市国民義勇隊があたることになり、即日河盛隊長は各支隊を召集し戦災者救済に出動を命じたが、主として無害地区および比較的被害の軽微であった地区の義勇隊が出動することとなり、遺体の収容、食糧その他の救済物資の運搬、道路の清掃、戦災地の水栓整理等の事業に昼夜をわけて活動するところがあつた。

また市営自動車部では七月一〇日より一五日まで、毎日四輛の自動車を運転し、傷病者・医療機具・戦災者用食糧・

救済体制 約六万の戦災者にたいする救済事業は、まことに重大な事業であつた。この完璧を期するため、市ではまず救済本部を設置することとなり、幹部会をひらき協議の結果、穴沢助役を救済本部長に任命し、一般救済・学校救済・給食の三部を設け、一般救済部には防衛・保健・施設の三課、学校救済部には教学・戸籍の二課、給食部には経済・経理の二課が参加し、一般救済部長に池尻防衛課長、学校救済部長に今西教学課長、給食部長に菅谷経済課長があたり、

なお社寺の焼失にともない、千利休の実相庵茶室、開口神社および妙因寺の三重塔をはじめ多数の寺宝・社宝の類はことごとく灰燼に帰した。

- | | | | | | |
|-----------|------|-------|-----|------|-----|
| 光明院 | 本願院 | 円龍寺 | 浄信寺 | 顯本寺 | 本受寺 |
| 塩穴寺 | 北十萬寺 | 長徳寺 | 誓源寺 | 生善寺 | 調御寺 |
| 靈法寺 | 長慶寺 | 光沢寺 | 浄光寺 | 光照寺 | 住本寺 |
| 千藏院 | 顯正寺 | 親月院 | 真光寺 | 榮光院 | 柳筍寺 |
| 旭蓮社大阿弥陀羅寺 | 明現寺 | 長谷寺 | 祥雲寺 | 長楽寺 | 永福寺 |
| 長泉寺 | 宝光寺 | 宝珠院 | 善宗寺 | 大福院 | 常通寺 |
| 専称寺 | 浄因寺 | 幸徳寺 | 源光寺 | 弁順寺 | 円光寺 |
| 延命寺 | 阿免寺 | 賢清寺 | 善教寺 | 正明寺 | 最勝寺 |
| 宝樹寺 | 阿弥陀寺 | 宝泉寺 | 教蓮寺 | 阿弥陀寺 | 来遊寺 |
| 正法寺 | 浄妙寺 | 光乘寺 | 南通寺 | 法華寺 | 真如庵 |
| 安養寺 | 極楽寺 | 慈光寺 | 長久寺 | 本教寺 | 妙光寺 |
| 了覚寺 | 龍門寺 | 大谷派別院 | 泉然寺 | 興覚寺 | 本要寺 |
| 法行寺 | 良俊寺 | 玉円寺 | 真光寺 | 妙円寺 | 妙法寺 |
| 盛宗寺 | 遍照寺 | 西方寺 | 念勝寺 | 浄専寺 | 本光寺 |
| 常安寺 | 蓮花寺 | 一光庵 | 妙因寺 | 常満寺 | 養寿寺 |
| 西福寺 | 心蓮寺 | 金蓮寺 | 西向寺 | 専称寺 | 妙満寺 |

焼したものはつぎのとおりである。(所在地は略) 浄信寺 顯本寺 本受寺 誓源寺 生善寺 調御寺 光照寺 住本寺 榮光院 柳筍寺 永福寺 常通寺 円光寺 最勝寺 来遊寺 真如庵 妙光寺 本要寺 妙法寺 本光寺 養寿寺 妙満寺